

SUBSCRIPTION-MANAGER コマンドのチートシート

for Red Hat Enterprise Linux

SUBSCRIPTION-MANAGER クエリ

サブコマンド	説明およびタスク
<code>-h</code> or <code>--help</code>	指定したコマンドに関するヘルプ情報を出力する
<code>subscription-manager attach --help</code> <code>attach</code>	コマンドのヘルプ情報を表示する

主なモジュール

SUBSCRIPTION-MANAGER サービスにシステムを新しく登録

サブコマンド	説明およびタスク
<code>register</code>	カスタマーポータルなどのサブスクリプション管理サービスにこのシステムを登録する
<code>subscription-manager register \</code> <code>--username=jo@example.com</code>	システムを登録するアカウントのユーザー名を指定する (アクティベーションキーを使用していない場合は必要)
<code>subscription-manager register \</code> <code>--password=MyKul122pwd</code>	ユーザーアカウントのパスワードを指定する (アクティベーションキーを使用していない場合は必要)
<code>subscription-manager register \</code> <code>--serverurl=host.example.com</code>	<code>subscription.rhn.redhat.com</code> 以外のホストでシステムを登録する
<code>subscription-manager register \</code> <code>--baseurl=https://host:8088/sam</code>	パッケージを取得するのに使用する yum サービスを設定するコンテンツ配信サービスの名前を設定する
<code>subscription-manager register \</code> <code>--name=host.example.com</code>	登録するシステムの名前を設定する (デフォルトはホスト名)
<code>subscription-manager register \</code> <code>--consumerid=12345d6d-83ed-44f8-99bf-14f605bbeXXX</code>	システムを再登録するために既存のシステムインベントリ ID を参照する
<code>subscription-manager register \</code> <code>--activationkey=Example_Key1</code>	コマンド切りの製品キーリストを指定して、特定のサブスクリプションをシステムに登録または適用する
<code>subscription-manager register --auto-attach</code>	互換性のある最適なサブスクリプションをこのシステムに自動的に登録する
<code>subscription-manager register --auto-attach \</code> <code>--servicelevel=standard</code>	サブスクリプションで使用するサービスレベル (standard, premium, または self-support) を設定する
<code>subscription-manager register --force</code>	システムが登録済みであってもシステムを登録する
<code>subscription-manager register --org=Example_Org1</code>	システムを組織に割り当てる
<code>subscription-manager register \</code> <code>--environment=Example_Env</code>	システムを組織内の環境に登録する
<code>subscription-manager register --proxy=host:3128 \</code> <code>--proxyuser=jo --proxypass=MyKul122pwd</code>	プロキシサーバーでシステムを登録する

システムに関するサブスクリプションと製品情報を一覧表示

サブコマンド	説明およびタスク
<code>list</code>	このシステムのサブスクリプションおよび製品情報を一覧表示する
<code>subscription-manager list --available</code>	システムに割り当てていない利用可能なサブスクリプションを一覧表示する
<code>subscription-manager list --available --all</code>	システムのアーキテクチャーに関わらず購入したサブスクリプションをすべて表示する
<code>subscription-manager list --available \</code> <code>--match-installed</code>	現在インストールされている製品に一致するサブスクリプションのみを表示する
<code>subscription-manager list --available \</code> <code>--no-overlap</code>	すでに提供されていない製品を提供するプールを表示する
<code>subscription-manager list --available \</code> <code>--ondate=2016-12-25</code>	アクティブで利用可能なサブスクリプションの検索に使用する日付を設定する
<code>subscription-manager list --consumed</code>	システムに現在登録しているサブスクリプションをすべて表示する
<code>subscription-manager list --installed</code>	サブスクライブしているかどうかに関わらず、システムに現在インストールされている製品をすべて表示する

システムにサブスクリプションを登録または自動登録

サブコマンド	説明およびタスク
<code>attach</code>	登録したシステムに特定のサブスクリプションを登録する
<code>subscription-manager attach \</code> <code>--pool=8af5f9643d4ade76013123451f6e495d</code>	システムに登録するサブスクリプションプール (製品の集まり) の ID を指定する (--auto を使用していない場合は必要)
<code>subscription-manager attach --quantity=1</code>	システムに登録するサブスクリプション数を設定する (デフォルトは 1)
<code>subscription-manager attach --auto</code>	互換性のある最適なサブスクリプションをシステムに自動的に登録する
<code>subscription-manager attach \</code> <code>--servicelevel=standard</code>	システムに登録したサブスクリプションにサービスレベル (standard, premium, または self-support) を設定する
<code>auto-attach</code>	システムで 4 時間ごとに、サブスクリプションの確認、登録、およびアップデートが自動的に行われるかどうかを設定する
<code>subscription-manager auto-attach --enable</code>	システムへの自動登録オプションを有効にする
<code>subscription-manager auto-attach --show</code>	システムで自動登録が有効かどうかを表示する
<code>subscription-manager auto-attach --disable</code>	システムへの自動登録オプションを無効にする

サーバーから最新のサブスクリプションデータを取得

サブコマンド	説明およびタスク
<code>refresh</code>	最新のサブスクリプションデータをサーバーから取得する

主なモジュール (続き)

システムのサブスクリプションおよび製品のステータス情報を表示

サブコマンド 説明およびタスク

status システムの製品および登録したサブスクリプションの現在のステータスを表示する

システムからサブスクリプションの登録解除と削除

サブコマンド 説明およびタスク

unregister カスタマーポータルなどのサブスクリプション管理サービスからこのシステムの登録を解除する

remove システムからサブスクリプションを削除するが、関連製品はアンインストールしない

```
subscription-manager remove \  
--serial=5282836853581912345  
特定の製品のサブスクリプション証明書のシリアル番号を指定して、システムから削除する
```

```
subscription-manager remove --all  
システムに登録されているサブスクリプションをすべて削除する
```

clean サーバーに影響を及ぼさずにローカルシステムとサブスクリプションデータをすべて削除する (登録解除と削除を効果的に行う)

その他のモジュール

サブコマンド 説明およびタスク

config rhsm.conf 設定ファイルの内容を変更する

```
subscription-manager config --list  
サブスクリプションマネージャーの現在の設定を出力する
```

```
subscription-manager config \  
--remove=server.proxy_port  
新しいパラメーターを指定せずに proxy_port の現在の値を削除する (サーバーでは rhsm または rhsmcrted を使用)
```

```
subscription-manager config \  
--server.proxy_port=999  
[server] セクションの proxy_port 値を 999 に設定する
```

environments ローカルにホストしたサブスクリプションまたはコンテンツサービス (Subscription Asset Manager など) で組織に設定した環境をすべて表示する

```
subscription-manager environments \  
--username=jo@example.com  
組織のアカウントに接続するために使用するアカウントのユーザー名を指定する
```

```
subscription-manager environments \  
--password=MyKul22pwd  
ユーザーアカウントのパスワードを指定する
```

```
subscription-manager environments \  
--org=Example_Org1  
設定した環境を一覧表示する組織を指定する
```

facts リリースバージョンや、CPU の数など、アーキテクチャー情報をすべて表示する

```
subscription-manager facts --list  
システム情報の一覧を表示する
```

```
subscription-manager facts --update  
システム情報をアップデートする
```

import 外部に生成したサブスクリプション証明書をインポートして適用する (ネットワークが切断されているシステムをサブスクライブするのに有用です)

```
subscription-manager import \  
--certificate=/path/to/cert.pem  
サブスクリプションの証明書を含む証明書の PEM ファイルを指定する
```

identity システム ID、名前、組織名、および組織 ID を一覧表示する

```
subscription-manager identity \  
--regenerate  
オリジナルの ID 証明書の既存の UUID を使用して、サブスクリプション管理サービスがシステムに新しい ID 証明書を発行するように要求する
```

```
subscription-manager identity \  
--regenerate --force  
ユーザー名とパスワードの認証を使用して、システムの ID 証明書を再生成する
```

orgs アカウントに関連付けられている組織をすべて表示する

```
subscription-manager orgs \  
--serverurl=host.example.com  
利用可能なすべての組織を一覧表示するために使用するサブスクリプションサービスの名前を指定する
```

plugins 利用可能な subscription-manager プラグインを一覧表示する

```
subscription-manager plugins --list  
利用可能な subscription-manager プラグインをすべて表示する
```

```
subscription-manager plugins --listslots  
利用可能なプラグインスロットを表示する
```

```
subscription-manager plugins --listhooks  
利用可能なプラグインスロットと、それを処理するフックをすべて表示する
```

```
subscription-manager plugins --verbose  
プラグインの設定値など、他のプラグインデータを表示する
```

redeem システムやサブスクリプションをサードパーティベンダーから購入している場合は、登録プロセス時に、ベンダーがシステムに提供している事前選択サブスクリプションが自動的に登録される

```
subscription-manager redeem \  
--email=jo@example.com  
登録通知メッセージを送るメールアドレスを指定する
```

```
subscription-manager redeem --locale=en-us  
メール通知に使用するローカル言語を設定する
```

```
subscription-manager redeem \  
--org=Example_Org1  
登録するサブスクリプションを発行した組織を指定する
```

release パッケージをインストールまたはアップデートする際に使用するスティッキー OS バージョンを設定する

```
subscription-manager release --list  
利用可能な OS バージョンを一覧表示する
```

```
subscription-manager release --set=6.3  
使用するマイナー (Y ストリーム) リリースバージョン (6.3) を指定する
```

```
subscription-manager release --unset  
設定しているリリースバージョンの優先順位を削除する
```

その他のモジュール (続き)

サブコマンド	説明およびタスク
repo-override	カスタムのコンテンツリポジトリ設定を管理する subscription-manager repo-override \ --repo=rhel-7-workstation-htb-rpms 修正するリポジトリを選択する (複数回指定できます) subscription-manager repo-override \ --add=enabled:1 コロン区切りで提供されている値で無効にした値を指定したり リポジトリに追加する (--repo オプションで指定) subscription-manager repo-override \ --remove=enabled --repo オプションで指定したりリポジトリから無効にした値 を削除する subscription-manager repo-override \ --remove-all --repo オプションで指定したりリポジトリから無効にした値 をすべて削除する subscription-manager repo-override --list --repo オプションで指定したりリポジトリからの上書きをす べて一覧表示する
repos	Subscription Asset Manager などのローカルホストのコン テンツサービスを使用する組織に対して、システムに利用 できるリポジトリをすべて一覧表示する subscription-manager repos --list システムが使用するコンテンツサービスによって提供されるリ ポジトリをすべて一覧表示する subscription-manager repos \ --enable=rhel-7-server-supplementary-rpms システムのサブスクリプションで指定したコンテンツソースに よって利用可能になった特定のリポジトリを有効にする subscription-manager repos \ --disable=rhel-7-server-supplementary-rpms システムのサブスクリプションで指定したコンテンツソースに よって利用可能になった特定のリポジトリを無効にする
service-level	システムにインストールした製品に対して現在設定した サービスレベルの優先順位 (standard、premium、または self-support) を表示する subscription-manager service-level --list 利用可能なサービスレベルを一覧表示する subscription-manager service-level --show システムの現在のサービスレベルの優先順位を表示する subscription-manager service-level --unset 以前設定したサービスレベルの優先順位を削除する
version	サブスクリプション管理サービスおよびパッケージのバー ジョン情報を表示する

その他の SUBSCRIPTION-MANAGER コマンド

サブコマンド	説明およびタスク
rct	証明書またはマニフェストのコンテンツを表示する rct cat-cert /etc/pki/tls/cert.pem cert.pem ファイルのコンテンツを表示する
rhsm-debug	サブスクリプションしたシステムに関する情報を一覧表示す る rhsm-debug system ローカルシステムのサブスクリプション情報を一覧表示する